

～横浜市青葉区から

いよいよ 全国へ発信するアートライブ～

音楽劇

「十三月の童話」

目を瞑ったら 十三月の歌が 見えた

目を開けたら 十三月の歌が 消えた

2021年 10月30日(土)

開演 14:00

青葉区民文化センター フィリアホール

【主催】 NPO 法人 65 歳からのアートライブ推進会議

【共催】 横浜市青葉区役所 【後援】 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

【協力】 工藤建設株式会社 住宅事業部



本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

アートライフも18年目に入り、これまでも様々な挑戦をしてきましたが、今回は高齢者と若者が世代を超えてお互いに理解・協力して作品を作り上げることを目的として、音楽劇第2弾「十三月の童話」に挑戦しました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期に延期を重ね、本日やっと開演を迎えることができました。

2回にわたる延期の中でも、この「音楽劇」の旅人たちは挫けることもなく、開演を信じて練習に練習を重ねてきました。このひととき、皆様も一緒に、目に見えない「十三月」を見つける旅人となって、加藤直先生、寺嶋陸也先生の世界に浸っていただけたらと思います。さあ、一緒に旅に出ましょう！

このコンサート開催に際し、多大なご支援をいただいております横浜市青葉区役所、(公財)横浜市芸術文化振興財団、並びにこのコンサートにご賛同頂きました多くの皆様に心より御礼、感謝申し上げます。

NPO法人 65歳からのアートライフ推進会議 理事長 酒井 沃子

NPO法人「65歳からのアートライフ推進会議」とは

高齢化社会が現実となって、人生経験豊かな人々が夢をもって元気に活動する場があれば社会に活力がみなぎると信じ、「65歳からのアートライフ推進会議」を2003年4月に発足、17年間、65歳以上の方が参加できるコンサートを中心に活動を続けて参りました。今回は音楽劇第2弾として、若い世代と65歳以上の方々との共演により、更にステップアップできる新しい分野に挑戦しました。

65歳からのアートライフ推進会議は、これからも様々なことにチャレンジしていきたいと思っております。

「感動することを辞めた人は、生きていないのと同じことである」という、アインシュタインの名言のように、本日の出演者は老いも若きも一緒になって練習を重ねてきました。

さあ、本日もステージと一体となってお楽しみください。

NPO法人スタッフ (50音順)

理事長 酒井 沃子 事務局長 山本 桂子

理事 石井 周司、梶谷 多美子、丹羽 綾子、福田 十喜夫、横山 郁子

監事 中村 捷

顧問 今井 雅之、善積 俊夫



プログラム

- 1 プロローグ
 - ♪ 1 「夢」 ♪ 2 「お月さん」
- 2 あっち こっち
 - ♪ 3 「アゲハ」
- 3 歌枕ツアー
 - ♪ 4 「不思議な夢」
- 4 チックとタック
 - ♪ 挿入歌 星めぐりの歌 ♪ 5 「この世」
- 5 地図にない十三月
 - ♪ 6 「ウタと踊り」
- 6 月のいろいろ
 - ♪ 7 「そら踊れ」
- 7 チックタック—夢と現・都会の森
 - ♪ 8 「十三月の魔法」
- 8 エピローグ
 - ♪ 9 「月よ 月よ」 ♪ 10 「終曲」

構成・演出……………	加藤 直
作曲……………	寺嶋 陸也
音楽指導……………	竹澤 嘉明・酒井 沃子
ピアノ……………	半澤 尚美
照明プラン……………	成瀬 一裕
照明操作……………	ライティングカンパニーあかり組
舞台監督……………	八木 清市
舞台装置製作……………	工藤建設株式会社



♪ 加藤 直【台本・演出】

オペラ、演劇、ミュージカル、合唱オペラの作・演出の他、童話・作詞、テレビドラマ、翻訳などを手掛ける。ロングランを重ねたエンターテインメントの一方で、新国立劇場、二期会、日生劇場、東京室内歌劇場、オペラシアターこんにゃく座等のオペラを演出する。又、言葉と音楽と声・身体の関係性をモチーフに新しい劇場表現創りにも積極的に取り組み、さらに沖縄や松本「非東京」の異才のアーティストや市民たちと様々な実験的試みをライフワークの一環としている。まつもと市民芸術館（シアターファクトリー）工場長。

ボクは十三月の話を書き始めた時、タイトルを「十三月の漫歩」にしようと考えていた。「童話」ではなく「漫歩」。あてもなくぶらぶら歩く、それだけの漫歩。敢えて目的を持たず、計画も立てず、成り行きにまかせて歩く。無論地図も無く。移動し続けるだけ。

どうやら便利が幸福とでも思いこんだこの時世、「漫歩」なんていうのが流行らないのはわかっていたが、ただただ「歩く」に拘泥^{こだわ}してみようか と。

ふと思ったのだ。

この時代は、見えるものとのみ付き合い、他人と帳尻の合う会話だけをして済ませているのではないか。

例えば、人々が昔、いかに夜を闇を怖れたか？ にも拘わらず真夜中「大道の辻」に出掛けて行き、懐中の想像力と共に百鬼夜行の出現を待ったと言う。ボクらが失くしてしまった、わけのわからないものへの畏怖の念。

いや実際は歩かなくてもいいのです。想像し続ける。語り、演じ、歌い続ける。見て聞いてくれる相手、他人(他者)を求め続ける。出会った他者によってボクらは、ほんの少し新しいボクらになるのですから。

このチームと出会い、稽古場で「音楽劇」の共同作業をしていたら、ウタが持つもう一つの力に漂泊への誘いがあると実感した。これは往々ロマンチックに捉えられがちだが、違う。その底にある、どうやら文明の力に逆らい抵抗する気力のようなものだ。今というこの時代が忘れようとする、見えにくい掴まえにくい理念。マニュアル化を拒絶する気構えだ。

幾つになっても「童話」だ。



♪ 寺嶋 陸也【作曲】(作曲家)

東京藝術大学音楽部作曲家卒、同大学院修了。
オペラシアターこんやく座での演奏や、2003年パリ日本文化会館における作品古典「投与云・西洋の音楽の交流」などは、高く評価された。「グスコブドリ」の伝説「ヒト・マル」などのオペラ、「星の王子さま」などの合唱劇の他、室内楽、合唱曲、歌曲、邦楽器のための作品など作品多数。作曲の他ピアノ、指揮など活動は多方面にわたる。

加藤直さんとは合唱のための音楽劇をこれまでもたくさん作ってきました。《十三月の童話》は、比較的高齢の方たちが演じ、歌うということを伺っていましたが、加藤さんの台本は特にそういう事を感じさせないものですし、あまり難解にならないようには気をつけましたが、ことさら歌いやすくなどという事は考えずに作曲しました。オペラやミュージカルのように感情表現が中心となる音楽ではないので、「歌は気持ちを表現する」と思っている人にとっては、とっつきが悪かったりするかもしれません。ここでの歌や音楽は「物語」です。その物語に、登場人物や、演じている人たち自身の思いが投影されることで、表面的なことだけではない受け取り方が出来るものであることを目指しています。人生の経験を沢山積んだ人たちによって演じられるこの音楽劇がどんなふう膨らんでいくのか、私も楽しみにしています。



♪ 竹澤 嘉明【音楽指導】(声楽家・東京藝術大学大学院修了)

今回アトライフは、音楽劇「十三月の童話」に挑戦です。
それも台本は加藤直、音楽は寺嶋陸也です。このコロナ下で！
これまで平穏なクラシックな音楽の舞台化に挑戦してきた私達が、突如、同世代の対局で活動してきたアングラの雄、加藤直らと対峙するという。加藤直の最初の戯曲は、「シュルレアリスム宣言」です。今回も更にシュールな台本「十三月の童話」に、私達は何を嗅ぎ分け歌うのでしょうか。



♪ 酒井 沃子【音楽指導】 (声楽家・東京藝術大学音楽学部声楽科卒業)

迷える旅人達と共に、先の見えない中でも少しずつ少しずつ練習を積み重ねてきました。彼らのたゆまない努力、あきらめない心に惹かれ、やっと今日という日を迎えることができました。よくぞここまで漕ぎつくことができました。旅人たちに拍手、喝采をお送りください。これまでの努力はこれからの旅にも大きな力になると確信しています。



♪ 半澤 尚美【ピアノ】(桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業)

役になりきり 演じるということの難しさを感じながら こんな時期だからこそ 毎回の練習で生きている証しをかみしめてきました。そして同じ道をみんなであっすぐ進んでいます。演出の加藤先生の重みのあるアドバイスでどんどん変化していく旅人たち。さて、最後にはどんな風に行きつくでしょう。ピアノの演奏と一緒に歩みながら めざす目標を持って歩いていきます。

特 別

♪ 竹澤 嘉明

「目まぐるしくシーンの変化する、月の童話のキラキラとした世界を歌とともに楽しんでいます。」



♪ 大林 通浩

子どものころ私は父に「十三月」とからかわれていました。そう、私は夢見る夢子だったのです。



♪ 渡辺 達子

夢と現実、過去と未来、光と影、静寂と喧騒、自己と他己、融合と離散、ままならぬこの世に歌って踊って旅は続く！



♪ 築野 洋子

私たち旅人とご一緒に夢幻の世界へ行きましょう



♪ 野上 路子

「あっち」と「こっち」は一体何者なのか…… その答えを探して、今日もまだ旅の途中です。



♪ 佐藤 尚孝

遂に、最年長の出演者となりました。コロナ禍で三度も延期となりましたが、精一杯頑張ります！



♪ 景山 正

岡本太郎の言葉のように「素朴に無邪気に幼児の眼をもって、旅に出よう！」



♪ 種倉 美砂

いつもは何となく見ている中秋の名月でしたが、この劇に出会い、今年はじっくりと眺めてしまいました！



♪ 服部 朱実

者 紹 介

出 演

♪ 酒井 沃子 (指揮)

「十三月の童話」の旅人の一人である私は、現下のコロナ禍でホンロウされている私自身の姿でもある。



♪ 鳥居 照男

「よし、やってみよう」何も考えずに練習スタート！身の丈以上の挑戦だったと、すぐに気が付いた。でも一歩ずつ前に進もう。



♪ 滝沢 邦子

…コロナの中想いもかけず13月を探す旅へのお誘いが…今思えばもっとしっかり確認するべきだったのに…気が付いたら人生初の舞台へ歩いておりました。

“音楽劇”つくづくやっかいですな(^^;)

心の壁を取っ払うのが舞台なら思いきり自分を解放して、楽しく生き生きとやりたいな～。ありがとう!!



♪ 小黒 牧子



♪ 平石 儀文



♪ 岩田 直美

扉を開けた先は森？
それとも十三月？

この様な時期に、音楽劇の舞台を初めて経験できるとは思ってもいませんでした。

コロナ禍、急遽仲間に加わり旅を続けて来ました。大きな冒険でした。コロナ禍、無観客公演も考えられていましたが、無事開催！ お楽しみください。



♪ 遠藤 恵美子



♪ 山本 照雄



♪ 齋藤 智子

次回コンサートのご案内

第34回 65歳からのアートライフ(声楽編・器楽編)

2022年3月8日(火)・9日(水) 開演 14:00 開場 13:15

会場：青葉区民文化センターフィリアホール

お申込み・お問い合わせ: オフィス・バルーン

TEL: 045-902-7402 Tel/Fax: 045-901-9914

E-mail: office_balloon@a00.itscom.net

〒225-0003 横浜市青葉区新石川1-14-16 オフィス・バルーン宛



※出演募集要項はコンサート会場にあります。

または返信用封筒に84円切手を貼付の上、上記オフィス・バルーン宛に申し込んでください。



いろんな笑顔を咲かせたい。
いろんな夢で咲かせたい。

お住まいに関するご相談は、
横浜で創業して55年の工藤建設までお問い合わせ下さい。

- 注文住宅（新築、建て替え）2世帯住宅、音楽を楽しむ地下室
- リフォーム（室内、外装メンテナンス、介護改修、段差解消）
- エクステリア（剪定、植替え、お庭の模様替え）

建設事業

注文住宅事業

建物管理事業

介護事業



東証二部上場
工藤建設株式会社

横浜市青葉区新石川4-33-10
0120-045-910

Florence
Garden



お申し込み・お問合せ オフィス・バルーン

TEL 045-902-7402 TEL・FAX 045-901-9914 E-mail: office_balloon@a00.itscom.net

〒225-0003 横浜市青葉区新石川1-14-16 オフィス・バルーン 宛